

令和7年度（2025年度）熊本県いじめ問題等対策連絡協議会記録

期 日：令和7年（2025年）5月27日（火）

時 間：14：00～16：30

場 所：県庁地下大会議室

協議 ア 本県におけるいじめ問題の状況等について（説明）

「令和6年度心のアンケート」

説明：岡本指導主事（県教委）、勝田総合支援課長（市教委）

協議 イ 今後の関係機関・団体の連携の在り方について（情報交換・協議）

<<各団体・機関の取組>>

関係21団体からの取組説明（各団体の出席者）

県が行ういじめ防止等の対策のための施策等の説明（山崎主幹）

【情報交換（質疑応答）】

発言者	発言内容
熊本県医師会 峯苔理事	・心のアンケートについて誰に話したかの項目について、低学年の生徒が話をどう受け止めるのか、話した後の指導や対応の仕方はどうするか。
熊本市教育委員会 勝田総合支援課長	・SOSの出し方だけでなく、SOSの受け止め方もしっかりやっていきたい。小学校低学年では受け止めきれないところがあると思うので、児童に抱え込ませず、担任やご家族などが気づき、他の誰かに伝えさせるようにすることが大事である。
熊本市立帯山小学校 西方校長	・本校では、低学年がアンケートで嫌なことがあるという回答をした場合、担任は面談等を実施して、子供達に確認し、具体的な対応方法を伝える。その後、相手に伝えてよいか、どのようにいじめ解消につなげていくかなど丁寧な対応をおこなっている。

【協議】

日本学校ソーシャルワーク学会 岩永教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほど質問に出た発達段階に応じた取組など、今後の取組について何かあれば御意見を伺いたい。</li> <li>・他の機関で小学校低学年の特徴などあれば伺いたい。</li> <li>・中学生、高校生でも構わない。</li> <li>・自然を愛する会ではキャンプ等での関わり等があれば。</li> </ul>
自然を愛する会 齊藤理事長	・言葉のかけ方が難しい。ゲームをしながら子供たちに気づかせる。キャンプなど遊びの中から学ぶ場を作っている。親の学びも大切である。
水俣市教育委員会 養田教育長	・例えば学校で本を読みふける、読みひたるなど、私たちが昔やってきたことに戻る必要があると思う。今の子供たちは恵まれているのに色々な事案が起きるのは大人の責任もあるのでは。昔からの教えを大人がしっかりと子供たちに伝えないといけない。

<p>大津町教育委員会 吉良教育長</p>	<p>・保護者から学校に意見があるのは、保護者が地域で孤立していることが一つの原因ではないかと思う。コロナ以降、PTA活動がしにくくなった。あり方が変わってくることで、保護者同士のつながりが希薄になっている。いじめに関しては若い先生が増えて経験値が不足しているため初動を誤る場合があるのではないか。</p>
<p>熊本県PTA連合会 山口会長</p>	<p>・PTA役員のなり手不足。学校に来ない保護者が増えた。どうやって保護者と学校が連携を取っていいのか考えている。校長にはPTAは必要だと伝えてほしい。大人の助けがないと子供たちのいじめ問題などにも対応できない。</p>
<p>熊本県公立高等学校PTA連合会 浅見会長</p>	<p>・学校と保護者が一番密に連携しないといけない。それから地域でしっかりと見守りをしていく。子供が保護者と会話していない。子供の状況はまず家庭で見ることが必要。まずは子供としっかりと会話することが大事。子供の変化に気づくのは会話からだと思う。</p>
<p>私立中学高等学校保護者会 寺本会長</p>	<p>・私立と公立では若干PTAの存在意義が異なる。公立との格差を無くすためにもPTAの存在意義を伝えている。役員のなり手がいないのは事実。懇親会を始めたら役員が増えてきた。</p>
<p>日本学校ソーシャルワーク学会 岩永教授</p>	<p>・PTAが重要であること、学校と保護者の関係、家庭における子供と親の関係が大事であるという話であった。 ・校長会から何かPTAに関する御意見等があれば。</p>
<p>熊本県立熊本高等学校 田中校長</p>	<p>・情報が多々あるため、接し方など迷う場面が多く、子育てが難しいのではないかと感じている。高校生に対して、困ったときに誰に相談しますか、という質問に、10年前は「友達」だったが、直近では「家族」と答えていた。保護者を頼りにしている。大人が子供たちを守るということをしっかりと伝えることが必要。それが子供のSOSの出し方につながる。</p>
<p>熊本市立江南中学校 星田校長</p>	<p>・子供達にお互いリスペクトをしあうように伝えている。子供と先生、先生と保護者も同様にリスペクトのサイクルを作ることが必要である。相談できる学校づくりをしていくことで子供達を育てていく。子供たちに考えさせることで人間関係を作っていく。保護者と先生のベクトルをそろえていくことが必要。</p>
<p>日本学校ソーシャルワーク学会 岩永教授</p>	<p>・時間になりましたので、提供いただいた情報や意見を関係団体で共有していただき、できるところから活用願いたい。以上で協議を終わります。 ・御意見ありがとうございました。</p>